

... PS200 フェロースキャン ...

クイックスキャン

取扱説明書

鉄筋探査：PS200 フェロースキャンには4つの探査方法があり、状況に応じて最適な探査モードを選ぶことができます

ここでは、その中の1つであるクイックスキャンの現場探査方法に関する取扱説明をいたします。

尚、このモードでの探査範囲は、0 ~ 100mm までのかぶりに対するものです。

日本ヒルティ株式会社

〒224-8550 横浜市都筑区茅ヶ崎南 2-6-20

T 0120-232926 | F 0120-232953

www.hilti.co.jp

1. 探査用途

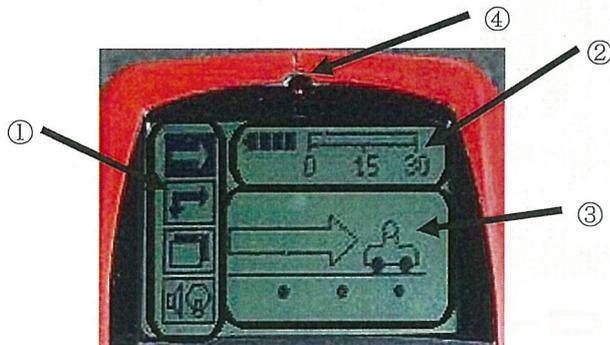
探査範囲 0 ~ 100mm までの鉄筋探査に適用できます。
コンクリートかぶり確認

2. 使用機器



PS200S スキャナー およびバッテリー

3. 液晶画面およびキーパット機能説明



- ① メニュー エリア
「矢印 ボタン」と「確定 ボタン」で選択可能な機能を表示
- ② ステータス情報 エリア
バッテリー充電状態、やメモリー状態などの情報を表示します
- ③ 可変 エリア
測定モード、鉄筋の被り、スキャン進行状態などを表示します
- ④ LED ランプ
6章 メニューエリアのデータ設定を参照



- ① 確定 ボタン 値や選択を確定する
- ② 記録 ボタン
記録モードのスタート/ストップ操作
- ③ ON/OFF ボタン
- ④ キャンセル ボタン
入力をキャンセルする、又は画面を一つ前に戻す
- ⑤ 矢印 ボタン 各種機能や値を切り替える

操作手順

クイックスキャン - デイテクトモード(検知モード)

4-1

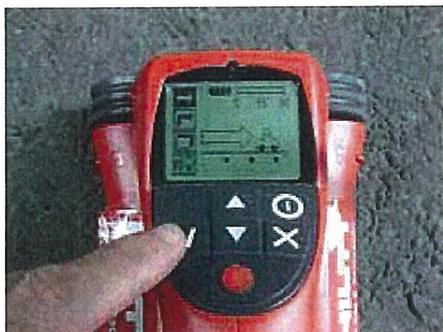


「ON/OFF ボタン」を押し、初期画面が表示されます。



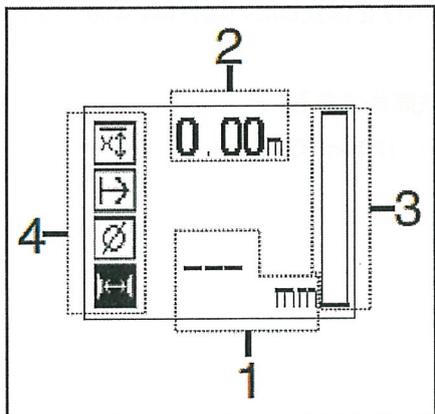
「メニューエリア」の最上部が黒く反転している表示で、クイックスキャンモードになっている事を表しています。

4-2



壁面、および周囲に露出している金属から1m以上離れて「確定 ボタン」を押します。

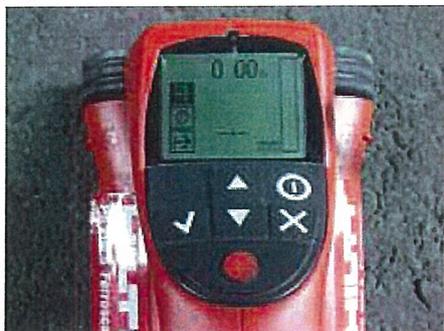
4-3



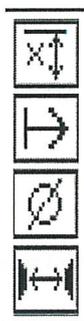
左の画面になり、クイックスキャンモードでの探査が可能になります

- 1 かぶり厚
- 2 始点からの探査距離
- 3 シグナル強度
- 4 設定
 - 最小深さ
 - 探査方向
 - 鉄筋径
 - 配筋ピッチ

4-4



クイックスキャンを開始します。
スキャナーの移動方向に対して直行する鉄筋を探索します。
(鉄筋は探索方向に対して±5° になっている事)



クイックスキャンモードを確定させた後の「メニューエリア」に関して



最小深さ 指定した値より小さな値(被りが浅い)の探索結果にて、LEDを点灯させます。



探索方向 探索方向を記憶させておくことができます。



鉄筋径 鉄筋径を指定しての探索ができます。
D6 D10 D13 D16 D19 D22 D25 D29 D32 D35 D39 の11種
+鉄筋径を指定しない の合計12項目から選択

φ9の丸鋼はD10で設定します。



配筋ピッチ より高精度でかぶり厚を探索したい場合に、配筋ピッチを定めます。

条件 ; 同一の鉄筋径であること
36mm ~ 120mm で入力

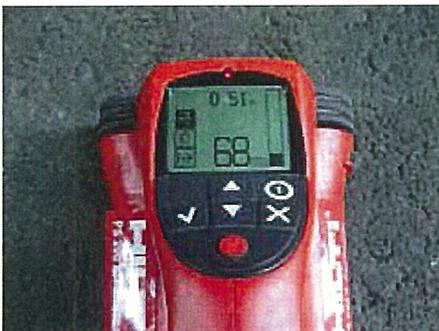
詳細な設定に関しましては、5章をご参照下さい。

4-6



探査する鉄筋に対して、直行方向に動かします。

配筋が交差している箇所では、精度が低下する場合がありますので、探査前に、交差していない箇所である事を確認して下さい。



鉄筋に近づくと画面右のシグナルバーが上がり始め、同時にかぶり厚が数字で表示されます。

鉄筋に近づくと表示される数値は小さくなり、離れるにつれて大きくなります。

4-7



最も小さくなった数値が、純かぶり値となります。

必要に応じて、スキャナーに付いているマーキングの突起を利用して、鉄筋位置をマーキングしてください。

4-8



探査終了時に、「キャンセル ボタン」を押します。

記録をしないクイックスキャンの場合、いつでも任意で探査を終わらせる事ができます。

4-9



初期画面に戻りましたら、「ON/OFF ボタン」を押し、終了させます。

4. 「メニューエリア」のデータ設定

クイックスキャンモードでの探査は、探査開始前にデータなどを設定することが可能です。鉄筋径に関しては、設定されている径で探査されます。



(4-5 探査開始前の画面)



「メニューエリア」で黒く反転している項目に対して操作ができます

6-4 参照:この項目は設定しません。

6-1



最小かぶり設定

設定した値よりも小さな値(かぶりが浅い)の探査結果にて、LED を点灯させます。また、スピーカーの設定によりブーピー音も鳴らす事ができます。

6-1-1



「確定 ボタン」を押し、「メニューエリア」内のかぶり厚設定メニューを黒く反転させます。

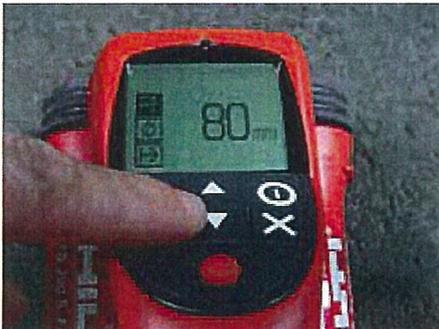
6-1-2



設定されていない場合、写真のように表示されます。

既に設定されている場合、数字が表示されます。

6-1-3



「矢印 ボタン」を操作し、99mm ~ 1mm までで設定します。

ここで設定された値より探査結果が浅い場合、画面上部の LED が点灯します。



6-1-4



「確定 ボタン」を押し、最小かぶり厚設定の値を確定します。

6-1-5



クイックスキャンモードの探査初期画面に戻ります

6-2



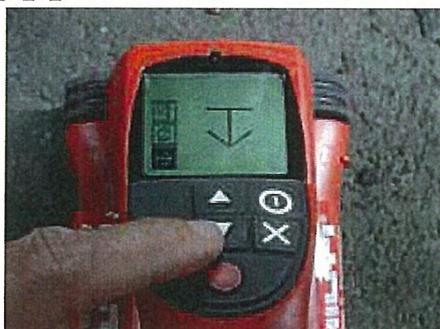
探査方向 探査面をどの方向に探査したのかを記憶させておく事ができます。

6-2-1



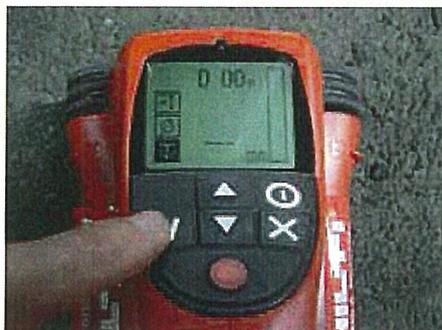
「矢印 ボタン」を操作し、「メニューエリア」内の探査方向メニューを黒く反転させます。

6-2-2



「矢印 ボタン」を操作し、探査方向を選択します。

6-2-3



「確定 ボタン」を押し、探査方向を決定し、クイックスキャンモードの探査初期画面に戻ります。

6-3



鉄筋径指定 鉄筋径を指定して探査する場合に設定します。

D6 D10 D13 D16 D19 D22 D25 D29 D32 D35 D39 の 11 種
+ 鉄筋径を指定しない の合計 12 項目から選択

φ9 の丸鋼は、D10 で設定します。

6-3-1



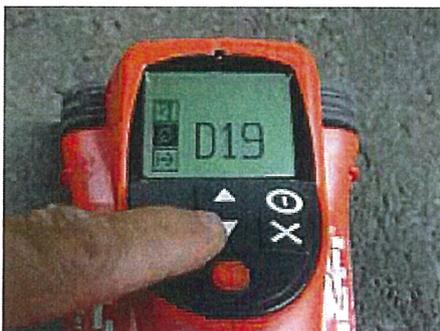
「矢印 ボタン」を操作し、「メニューエリア」内の鉄筋径指定メニューを黒く反転させます。

6-3-2



「確定 ボタン」を押し、鉄筋径指定メニューを確定します。

6-3-3



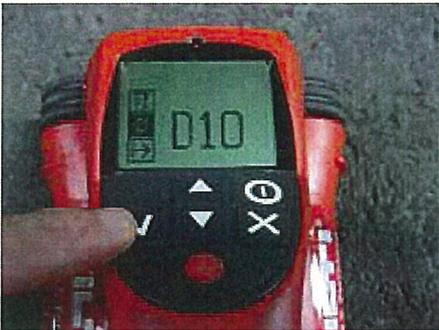
「矢印 ボタン」を操作し、探査する鉄筋径を設定します。

D6 D10 D13 D16 D19 D22 D25 D29 D32 D35 D39 の 11 種
+ 鉄筋径を指定しない の合計 12 項目から選択



鉄筋径を指定しない場合、内部で指定された探索されますので、かぶり厚さの探索精度は低下します。

6-3-4



「確定 ボタン」を押し、被り厚設定の値を確定し、クイックスキャンモードの探索初期画面に戻ります。

6-4



配筋ピッチ より高精度でかぶり厚を探索したい場合に、配筋ピッチを設定します
条件 ; 同一の鉄筋径であること
36mm ~ 120mm で入力

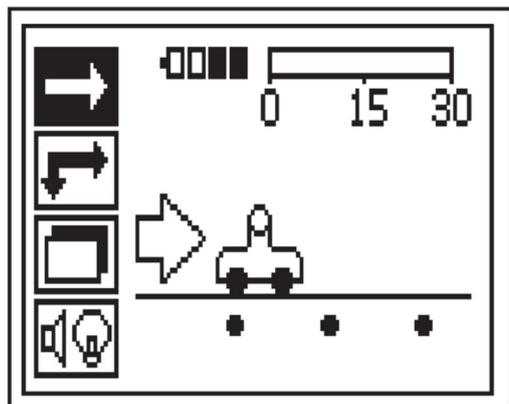
「矢印 ボタン」を操作し、36mm ~ 120mm までで設定します。

注意: 本項目は設定せずに使用しますので、常に<119mm の設定で使用して下さい。

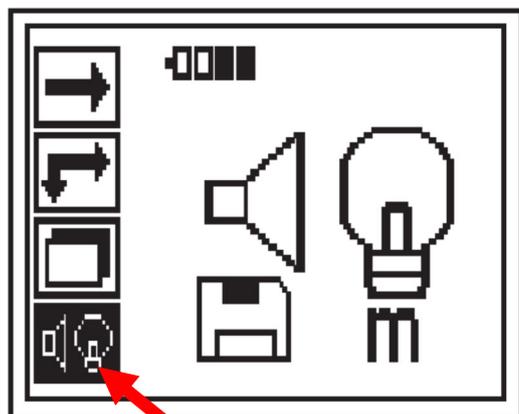
PS250 メモリ消去方法の手順書

○データ消去方法

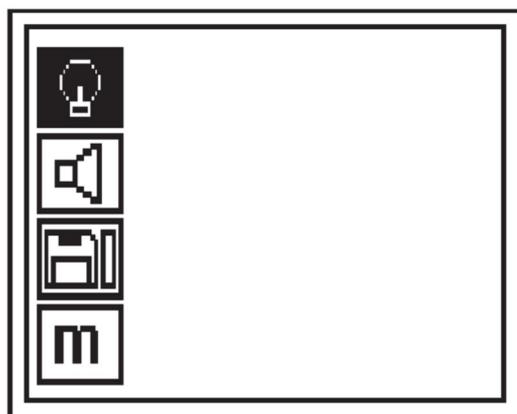
下記の操作ボタンを押すと左図の表示になります。



- ①下記の電源ボタン⓪を長押しで電源を入れる。
左図のPS 250の画面が表示される。

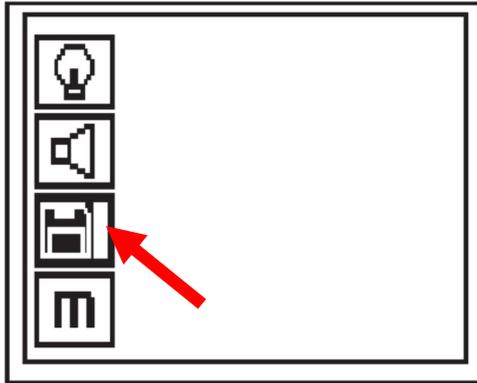


- ②下記の矢印ボタン▽を3回押すと、左図の画面上から4つ目にカーソールが動き
左図の画面が表示される。

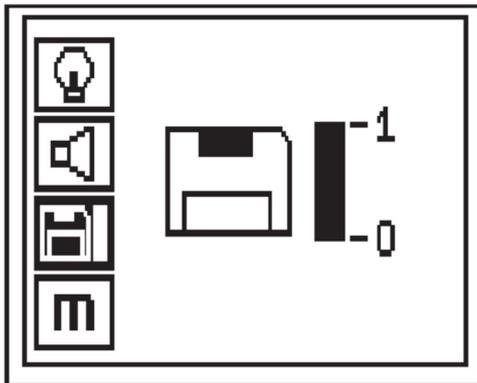


- ③ ②の状態の下記の✓ボタンを1回押すと、左図の画面が表示される。

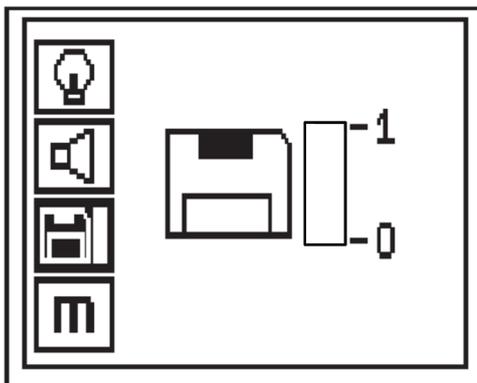




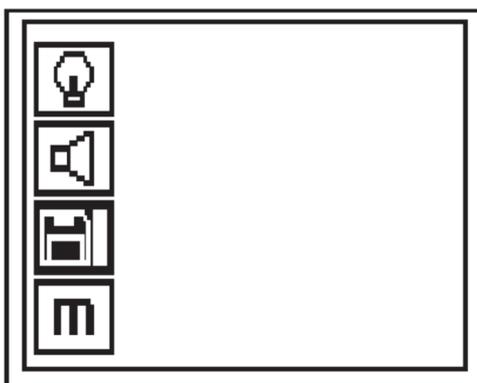
④下記の矢印ボタン▽を2回押すと、左図の画面上から3つ目にカーソルが動く



⑤ ④の状態ですべてボタンを1回押すと、左図のフロッピーディスクのアイコンが表示される



⑥下記の矢印ボタン▽を1回押すと、左図の画面のフロッピーディスクのアイコンのバー表示が空になり、全てのデータが消去される。



⑦ ⑥の状態ですべてボタンを1回押すと、左図の画面が表示され⑤の状態でないことが、全てのデータが消去されたことが確認できる。



日本ヒルティ株式会社

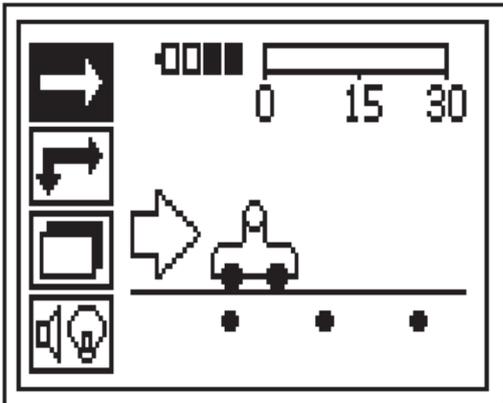
〒224-8550 横浜市都筑区茅ヶ崎南 2-6-20

T 0120-66-1159 | F 0120-23-2953

www.hilti.co.jp

○データが消去されているかの確認方法

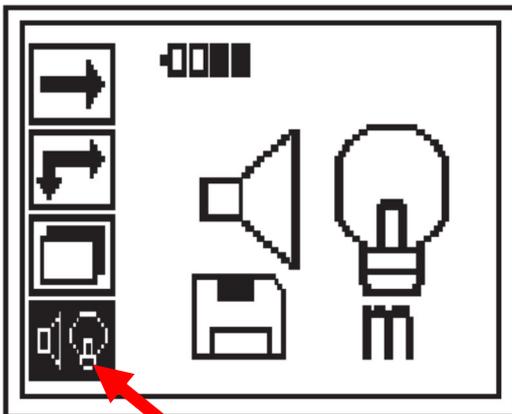
下記の操作ボタンを押すと左図の表示になります。



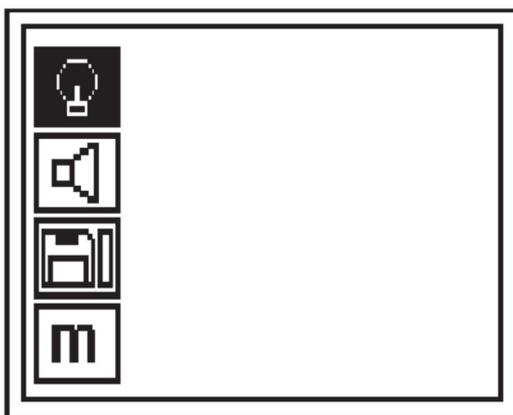
- ⑧下記の電源ボタン①を長押しして電源を入れる。
左図のPS 250の画面が表示される。

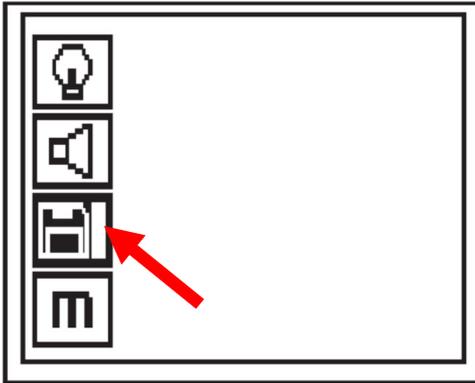


- ⑨下記の矢印ボタン▽を3回押すと、左図の画面上から4つ目にカーソールが動き
左図の画面が表示される。



- ⑩ ⑨の状態の下記の✓ボタンを1回押すと、左図の画面が表示される。

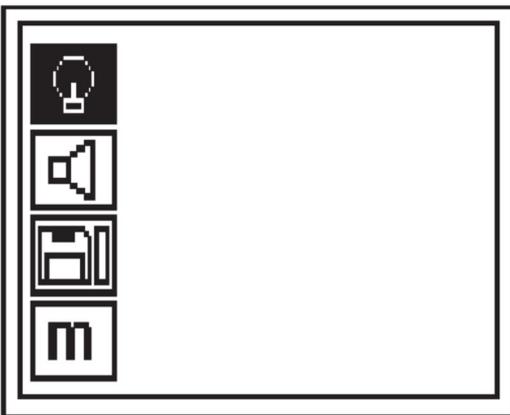




⑪下記の矢印ボタン▽を2回押すと、左図の画面上から3つ目にカーソルが動く



⑫ ⑪の状態ですべてのボタンを1回押しても、画面に何も表示がなければデータが消去されていることを確認。



⑬のようにデータが残っている場合は
⑭・⑮の手順でデータを消去する。